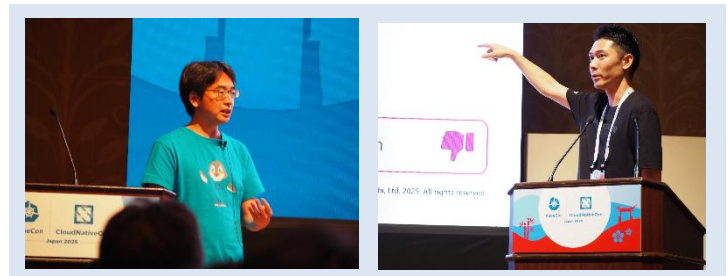
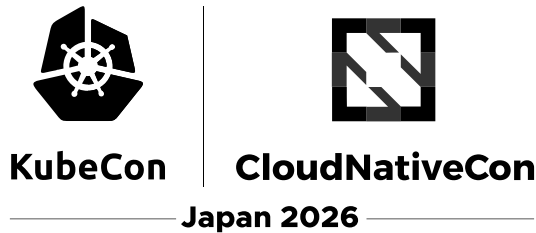


日立、「KubeCon + CloudNativeCon Japan 2026」にて AI 活用に不可欠なセキュリティ技術について最新の取り組みを紹介

日本企業最多の 4 講演に登壇し、Keycloak や MCP を活用した AI エージェントの安全なデータ連携を解説



KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025 日立登壇の様子

株式会社日立製作所(以下、日立)は、7 月 28 日(火)～30 日(木)にパシフィコ横浜で開催される、「KubeCon + CloudNativeCon Japan 2026」(以下、本イベント)にて、AI 活用に不可欠なセキュリティ技術など最新の取り組みについて講演します。本イベントはクラウドネイティブ技術の開発や普及をグローバルにリードしている非営利団体 Cloud Native Computing Foundation(以下、CNCF)が主催するフラッグシップカンファレンスです。日立はこれまでのグローバルな OSS コミュニティへの貢献が評価され、日本企業として最多となる 4 講演に登壇するほか、プラチナスポンサーとして協賛し、展示ブースにて AI エージェント連携ソリューションなどを紹介します。また、7 月 28 日(火)に開催される併設イベントでは、「KeycloakCon Japan」にダイヤモンドスポンサーとして、「Japan Community Day」にプラチナスポンサーとして協賛します。日立は、それぞれのイベントで Keycloak^{*1}や、Model Context Protocol(以下、MCP^{*2})を活用した AI エージェントの安全なデータ連携などを解説します。

世界中のオープンソース技術者が一堂に会する本イベントは、コミュニティ関係者だけでなく、クラウドネイティブ技術を活用してビジネス変革を推進するユーザー企業の皆さまもご参加いただけます。ご来場をお待ちしております。

お申し込みはこちら：<https://events.linuxfoundation.org/kubecon-cloudnativecon-japan/>

昨今、生成 AI や AI エージェントのビジネス活用が急速に進む中、情報漏洩や不正アクセスを防ぐためのセキュリティ強化が求められています。これらの課題解決に向け、MCP のアクセス制御や、クラウドネイティブ環境で安全な認証・認可を実現するための実践的ガイドラインや標準インターフェースなど、AI 時代の安全で信頼できるクラウドセキュリティに必要な最先端の取り組みを解説します。

日立は CNCF の参画メンバーとして、Governing Board^{*3}や TAG(Technical Advisory Groups) Security and Compliance の Tech Lead^{*4}といった要職に社員を輩出し、グローバルな OSS コミュニティの運営を主導しています。特に Keycloak においては、主要機能の開発をけん引するメンテナとして、企業の安全な DX を技術面から強力に支援しています。日立の CNCF 活動の詳細は下記をご参照ください。

・日立のクラウド Cloud Native Computing Foundation(CNCF)の活動

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/cncf/?ni=260713>

*1 Keycloak : ID 管理やアクセス管理(IAM: Identity and Access Management)を実現する OSS

*2 MCP : LLM アプリと外部のデータソースやツールを標準的に接続するためのオープンプロトコル

*3 お知らせ “日立の Head of OSPO が Cloud Native Computing Foundation の Governing Board メンバーに就任”(2025 年 2 月 28 日)

*4 お知らせ “日立の社員が Cloud Native Computing Foundation の TAG Security and Compliance の Tech Lead に初期メンバーとして就任”(2025 年 8 月 7 日)

■ KubeCon + CloudNativeCon Japan 2026 での日立の講演

日時*5	講演種別・タイトル・概要	日立の登壇者
30 日(木) 09:57- 10:07	キーノート <u>Navigating the Identity Abyss in the AI-Native Era</u> AI ネイティブ時代の到来により、アイデンティティ管理は底なしの沼とも言える新たな技術的課題に直面。Hitachi Head of OSPO の中村が、CNCF ボードおよび本イベントの Co-Chair として、アイデンティティ基盤を構築するための実践的ガイドライン「CNCF IAM ホワイトペーパー」と、主要な IAM ソリューションである Keycloak を紹介。AI 時代における安全なアイデンティティ管理について、これまでの歩みとこれからの展望を解説。	 中村 雄一
29 日(水) 15:50- 16:20	共同セッション：Maintainer Track <u>Identities and Authentication for your Agents with Keycloak</u> Keycloak メンテナである乗松が、Keycloak を用いた AI エージェントのアイデンティティと認証について解説。AI エージェント連携プロトコル MCP における認可の仕組みを、Keycloak の機能や MCP のバージョンによる違いを交えて紹介。さらに、AI エージェント向けの認可サーバーとして Keycloak を実際に設定・利用するデモを実演。	 乗松 隆志
30 日(木) 14:10- 14:40	共同セッション：Maintainer Track <u>Behind the CNCF IAM Whitepaper: AuthN & AuthZ in Cloud Native Systems</u> 2026 年 3 月に CNCF の TAG Security and Compliance が公開した、クラウドネイティブシステムにおける認証(AuthN)と認可(AuthZ)の実践的ガイドライン「CNCF IAM ホワイトペーパー」について、同 TAG の Tech Lead を務める田畑が解説。アーキテクトや開発者が、本ホワイトペーパーを共通基準として活用し、セキュアなシステムを設計・進化させるための知見を紹介。	
30 日(木) 16:30- 17:00	セッション：Security <u>AuthZEN in Practice: Standardizing Authorization for Cloud Native Platforms and Agents</u> クラウドネイティブ環境で AI エージェントによる API やインフラへのアクセスが広がる中、セキュリティ(認可)に関する標準インターフェース「AuthZEN Authorization API 1.0」の基本概念を解説。Keycloak を用いたデモを通じて、トークン発行からポリシー適用までの一連の流れを実演し、クラウドネイティブエコシステムへの具体的な適用方法を紹介。	 田畑 義之

*5 登壇日時は変更となる可能性があります。最新の情報は当日会場にてご確認ください。

■ 日立の展示ブース (7 月 29 日(水)～30 日(木))

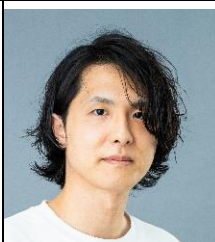
OSS を活用した以下のソリューション・サービスを紹介し、日立の講演に関するご質問を承ります。

- ・AI エージェント連携ソリューション
- ・Platform Engineering サービス
- ・日立の Keycloak サービス

■ KeycloakCon Japan(併設イベント)での日立の講演

日時 ^{*5}	講演種別・タイトル・概要	日立の登壇者
28日(火) 09:45- 10:10	ブレイクアウトセッション : Keycloak and AI <u>Simple Control: Managing Multi-Domain MCP Access via Keycloak IdP with ID-JAG</u> AI エージェントに MCP を導入する際、認可ロジックが一元管理しにくくなる課題に対し、中央の IdP(アイデンティティプロバイダー)として Keycloak を活用する堅牢なアーキテクチャを提案。認可処理を MCP サーバーから Keycloak に切り離し、ID-JAG(Identity Assertion JWT Authorization Grants)を用いた、安全で一元的なアイデンティティ監視・管理手法を紹介。	 大淵 豊
28日(火) 10:25- 10:30	スポンサーキーノート <u>Hitachi: OSS Contribution Empowers AI in Social Infrastructure and Services</u> 交通やエネルギーといった社会インフラへの AI 応用が進む中、その基盤を支える OSS への継続的な貢献とサステナビリティの重要性を提言。信頼性の高いエンタープライズ品質の AI 開発に向けた日立の取り組みを紹介し、AI 分野における日本企業のプレゼンス向上への貢献を解説。	 乗松 隆志

■ Japan Community Day (併設イベント)での日立の講演

日時 ^{*5}	講演種別・タイトル・概要	日立の登壇者
28日(火) 13:25- 13:50	セッション <u>Building Trust in MCP for Agentic AI with Authorization Server Conformance Tests</u> Agentic AI の普及に伴い、外部ツールと連携する際の標準仕様として OAuth 2.1 ベースの MCP が重視される一方、認可サーバーの準拠性を検証できず、脆弱性による漏洩リスクが懸念されている。本セッションでは、岡井が開発した MCP 認可サーバーの適合性テストを紹介し、Keycloak を用いた検証デモを実演。コミュニティに寄贈された本テスト群を通じ、MCP の信頼性向上に貢献。	 岡井 倫人
28日(火) 15:40- 15:45	ライトニング・トーク <u>What's New in CNCF Platforms White Paper v1.1</u> 2026 年 4 月、Platform Engineering の標準ガイドである「CNCf Platforms White Paper v1.1」が公開。本アップデートでは、ドキュメントの構成や可読性をブラッシュアップし、より分かりやすい内容へと改善。本セッションでは、アップデートに携わった松田が主な変更点を整理し、今後のプラットフォーム戦略における重要なポイントを解説。	 松田 元輝

KubeCon + CloudNativeCon Japan 2026 開催概要

- ・開催日時：2026 年 7 月 28 日(火)～30 日(木)9:00～17:00
- ・開催場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
- ・参加費(税込)：¥54,985(個人) ¥114,220(法人)
- ・主 催： [Cloud Native Computing Foundation](https://www.cncf.io/)
- ・イベント詳細及び事前申込み：<https://events.linuxfoundation.org/kubecon-cloudnativecon-japan/>

■併設イベント：

- ・KeycloakCon Japan (7 月 28 日(火) 9:00～12:30 @パシフィコ横浜)
<https://events.linuxfoundation.org/kubecon-cloudnativecon-japan/co-located-events/keycloakcon/>
- ・Japan Community Day (7 月 28 日(火) 13:00～17:35 @パシフィコ横浜)
<https://events.linuxfoundation.org/kubecon-cloudnativecon-japan/co-located-events/japan-community-day/>

関連サイト

- ・日立のクラウド Cloud Native Computing Foundation(CNCF)の活動
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/cncf/?ni=260713>
- ・OSS(オープンソース・ソフトウェア)Keycloak とは？
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/efforts/keycloak/?ni=260713>
- ・日立 OSPO ホームページ
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/?ni=260713>

商標注記

- ・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 A I & ソフトウェアサービスビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上